

# 保健総務管理事業

健康福祉部健康づくり推進課

事業の目的 「いわみざわ健康ひろば」を健康づくりの拠点にし、市民の笑顔あふれる幸せな生活の実現を目指します。

事業の概要 定期的な健診、気軽に受けられる健康チェック、楽しみながら体験できる健康イベントなどを実施し、市民が健康状態を把握でき、健康相談を受けられる環境をつくります。

## 平成29年度



市民の健康づくり拠点

「いわみざわ健康ひろば」オープン

【利用実績 H29】

実施日	事業名	延利用者数	
毎 日	健康測定	1,592人	
	コミュニティスペース	1,093人	
毎週火曜日	健康チェックの日	1,356人	
毎週木曜日	北大COIの日	758人	
月 1 回	フードディ	278人	
随 時	各種保健事業	健診	2,787人
		その他保健事業	2,010人
	各種団体・会議等	2,223人	
	健康相談のみ	75人	
そ の 他	オープニングセレモニー(H29.4.1)	400人	
合 計		12,572人	

毎週火曜日 健康チェックの日

毎週木曜日 北大COIの日

測定は毎日できるよ!

いわみざわ健康ひろば

みなさんの健康を「まもる」「つくる」「つなく」をテーマにした健康づくりの拠点です

月1回 フードディ

空きスペース ぐるぐるの場

ホームページ <http://www.iwamizawa-kenkouhiroba.jp/>

実施日	事業名	事業概要
毎 日	健康測定	血圧、体組成、血管年齢、骨健康度
	アール・ブリュット展示	主に障がい者の芸術作品を常設展示
	コミュニティスペース	バス待ち、昼食、待ち合わせ等に利用可能
毎週火曜日	健康チェックの日	健康測定及び保健師、管理栄養士などによる健康相談
毎週木曜日	北大COIの日	乳幼児の健康測定、カラオケ機器を使った介護予防体操等
月 1 回	フードディ	地元食材を使ったアイデア離乳食、健康な食事の試食やレシピ紹介など
随 時	各種保健事業	すこやか健診(成人健診)、レディース健診、お口いきいき教室、ひゃっぴい体操教室、介護者の集いなど
	各種団体、会議等	健康、福祉関連団体の事業、会議など

根拠法令：

関連計画：岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画

平成31年度予算額

1,948万円

うち、健康ひろば関係 476万円

# 健康寿命延伸事業 (1/3)

健康福祉部健康づくり推進課

**事業の目的** いつまでも健康で生きがいを持ち、住み慣れたまちで暮らすことができるよう健康寿命の延伸を目指します。  
**事業の概要** 心身の健康に関する個別の相談で必要な助言指導を行います。また、市民が自分にあった健康づくりを実践することができるよう健康教室を開催します。

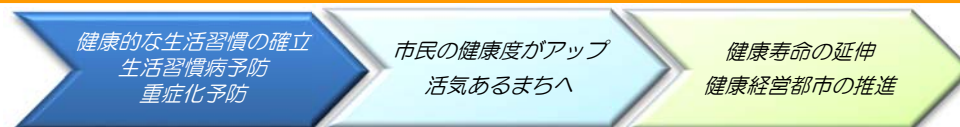
**事業開始年度** 昭和31年度  
**健康相談事業、訪問指導事業、健康教育事業**

**【見直し等の経過】**

平成19年度 教育大学連携事業を開始し共同で健康講座を新規に開催。  
 平成21年度 健康体操推進事業を開始し、オリジナル健康体操「ひゃっぴい体操」の普及活動を開催。

**【事業実績】**

年 度	H28	H29	H30見込
訪問指導事業指導人数	323人	262人	236人
健康相談事業参加人数	419人	1,724人	2,000人
健康教育事業参加人数	5,252人	5,772人	6,043人
健康体操推進事業参加人数	4,777人	4,565人	2,492人
教育大学連携事業参加人数	198人	93人	130人



**訪問指導事業**

健診後の要指導者、重複・頻回受診者、療養上の保健指導が必要な人等に対し、保健師、管理栄養士、歯科衛生士等が訪問指導を行います。

**健康相談事業**

健康ひろば「健康チェックの日（毎週火曜日）」や、各地域の会館などに出向いて、保健師等が健康相談を行っています。

**健康体操推進事業**

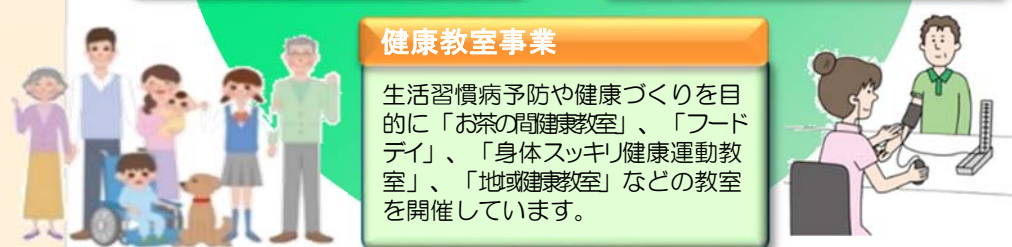
市のオリジナル体操である「ひゃっぴい体操」の動画作成や教室の実施、また、イベント等での体操の実演などを行っています。

**教育大学連携事業**

北海道教育大学岩見沢校と連携し、「骨盤ケア講座」、「女性のための健康力アップ講座」、「親子運動教室～ベビーバルシューレ」を行っています。

**健康教室事業**

生活習慣病予防や健康づくりを目的に「お茶の間健康教室」、「フードデイ」、「身体スッキリ健康運動教室」、「地域健康教室」などの教室を開催しています。



根拠法令：健康増進法

関連計画：岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画

**平成31年度予算額**

**8,214万円**

うち、訪問指導事業 5万円、健康相談事業 465万円、健康教育事業 154万円  
 教育大学連携事業 9万円、健康体操推進事業 93万円

# 健康寿命延伸事業 (2/3)

健康福祉部健康づくり推進課

**事業の目的** いつまでも健康で生きがいを持ち、住み慣れたまちで暮らすことができるよう健康寿命の延伸を目指します。

**事業の概要** 健康ひろば等で各種健康診査を実施します。特定年齢を対象に「子宮・乳がん検診無料クーポン券」を配付します。後期高齢者の健康を支援するため、人間ドック等費用の一部助成及び歯科健診を実施します。

## 事業開始年度 昭和39年度

【見直し等の経過】

平成28年度 健診自己負担金引下げ  
バスツアー健診開始

中学生のピロリ菌除菌事業開始

平成29年度 女性のための総合セット健診開始

平成30年度 健診のWEB予約開始



各種健診受診者数

(単位：人)

年 度	H28	H29	H30見込
胃がん検診	2,434	1,987	2,020
肺がん検診	2,913	2,526	2,815
大腸がん検診	2,924	2,508	2,870
前立腺がん検診	989	842	910
子宮頸がん検診	1,549	1,153	1,155
乳がん検診	1,970	1,507	1,347
健康診査	810	793	873
ピロリ菌検査	—	1,177	2,077
歯科健康診査	687	643	640
後期高齢者人間ドック	200	255	308
後期高齢者脳ドック	50	50	50

## 健診対象・健診料金等

道内トップレベルの低料金

	健診項目	検査方法	対 象	健診料金	
				国保・生保 後期高齢 非課税	協会 けんぽ 等
健康診査	健康診査	血液・尿・ 診察等	40歳以上の生保 非課税・後期高齢	無料	500円 (協会けんぽ)
	歯科健診	歯科健診・指導	成人・後期高齢	無料	
がん検診	胃がん	バリウム検査	40歳以上	無料	500円
	肺がん	胸部X線撮影			100円
	大腸がん	便潜血2日法			300円
	前立腺がん	血液検査	50歳以上の男性		500円
	子宮頸がん	内診・細胞診	20歳以上の女性		500円
	乳がん	マンモグラフィ	30歳以上の女性		500円
	ピロリ菌	血液検査	40歳以上		1,000円 (生保無料)
高齢者健診	人間ドック	各種健診	後期高齢者	5,000円	—
	脳ドック	脳MRI等	後期高齢者	5,000円	—

## 受診率向上の取組

- 健診WEB予約やメールによる受診勧奨
- 協会けんぽとの連携
- 健診会場や時期の見直しによる利便性向上
- 若い世代への啓発 等

根拠法令：健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律

関連計画：岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画

平成31年度予算額

8,214万円

うち、健康診査事業 1,366万円、がん検診事業 4,572万円  
高齢者健診事業 915万円

# 健康寿命延伸事業 (3/3)

健康福祉部健康づくり推進課

**事業の目的** いつまでも健康で生きがいを持ち、住み慣れたまちで暮らすことができるよう健康寿命の延伸を目指します。

**事業の概要** すべての市民が心身の健康を保ち安心して暮らせるよう、地域づくりを支える施策を推進します。各健康づくり支援事業を連携させながら、市民が主体となる健康づくり・仲間づくりを支援します。

## 事業開始年度 平成26年度

【見直し等の経過】

平成26年度 <健康まつり>  
会場を保健センターからイベントホール  
赤れんがに変更

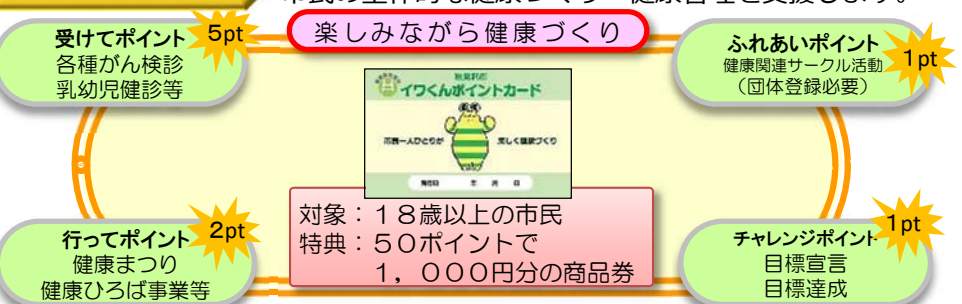
平成28年度 <健康ポイント>  
・対象年齢を30歳から18歳に引下げ  
・ポイント特典を施設利用券から  
1,000円分の商品券に変更

平成29年度 <AED>  
全国AEDマップ（日本救急医療財団）  
への登録を推進

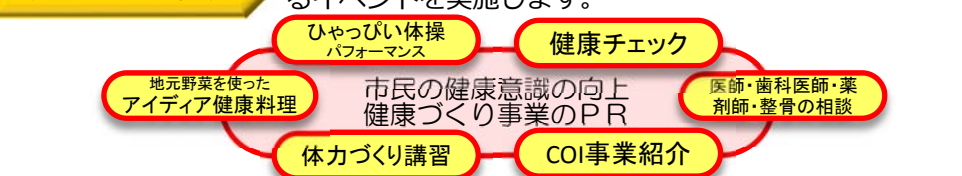
各種健診受診者数 (単位：人、施設)

事業名	項目	H28年度	H29年度	H30年度 (見込)
健康ポイント	参加者数	8,928	12,742	15,000
健康まつり	参加者数	1,480	1,605	1,503
AED設置施設登録制度	登録施設	192	218	250

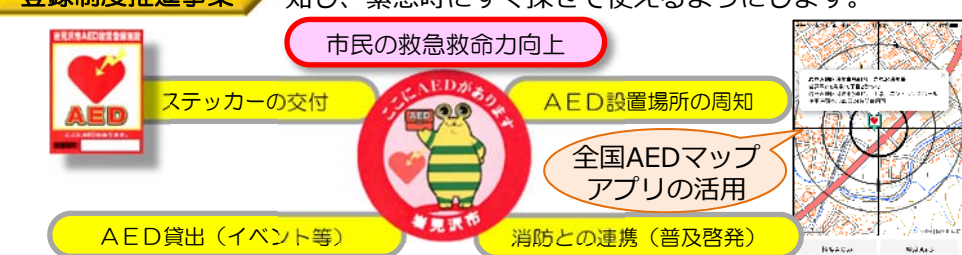
### 健康ポイント事業



### 健康まつり事業



### AED設置施設登録制度推進事業



根拠法令：

関連計画：岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画

平成31年度予算額

8,214万円

うち、健康づくり推進委員会 57万円、健康まつり 198万円  
健康ポイント 364万円、AED 16万円

# 健康経営都市推進事業

健康福祉部健康づくり推進課

**事業の目的** 「人もまちも元気で健康」な地域社会の形成に向け、産学官金の連携により、健康経営都市を推進します。

**事業の概要** 生活・健康づくりサービスの提供基盤（オープンプラットフォーム）の構築、農・食を連動させた新しい健康関連産業の創出、北大COIと連携し、産学官金が一体となって市民の健康を支える健康コミュニティを推進します。

**事業開始年度** 平成29年度

平成28年6月 健康経営都市宣言

「人もまちも元気で健康」をテーマに、地域の健康管理の目的を「医療や介護予防」から「健康で生きがいを持って暮らせる地域創出」へと変革させていく考え方。

特定非営利活動法人健康経営研究会により平成28年6月に全国で自治体として初めて認定された。

事業	項目	H28年度	H29年度	H30年度(見込)
北大COI 地域健康講座	実施回数	7回	10回	11回
	参加者数	603人	1,081人	600人
健康ひろば	来場者数	—	12,572人	13,000人
	うち健康チェック	—	2,948人	2,600人

●平成29年度～

【新しい地域】生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築を目指した取り組み

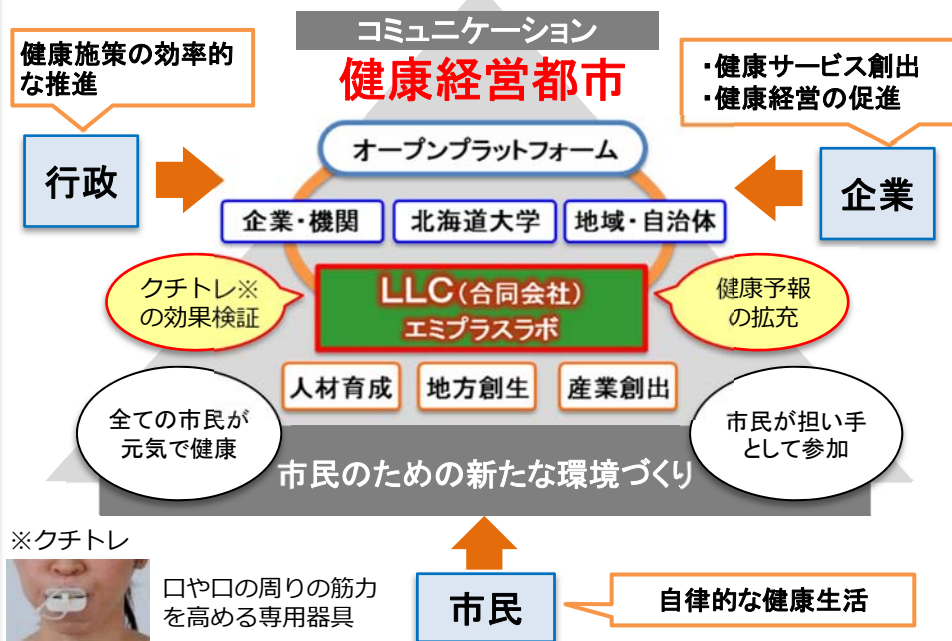
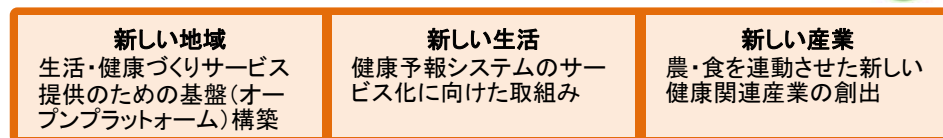
【新しい生活】健康予報システムの構築・拡充や市民・企業向けのサービス提供に向けた検討

北大COIと連携した健康コミュニティの推進

【新しい産業】農・食を連動させた新商品開発に向けた検討

少子高齢化の進展に伴い、公的社会保障(いわゆる「まもる」基盤)観点だけではなく、人々の暮らしを支えていくため、「つくる」、「つなぐ」という新しい視点を加え、地域独自の社会保障基盤の構築を目指しています。

3つの「新」でつくる「健康経営都市」



※クチトレ



口や口の周りの筋力を高める専用器具

根拠法令：

関連計画：岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画

平成31年度予算額

3,052万円

# 疾病予防推進事業

健康福祉部健康づくり推進課

**事業の目的** 市民が健康に暮らせることを目的に、感染症の発生蔓延を予防します。

**事業の概要** 予防接種法に規定する各種予防接種を行います。また、成人の風しん予防接種を行います（抗体価の低い人）。エキノコックス症検診と結核検診を行い、早期発見により早期治療へ繋がります。

## 【見直し等の経過】

昭和63年度 エキノコックス症検診開始  
 平成3年度 結核検診開始  
 平成31年度 39歳～56歳の男性を対象に  
 風疹の抗体検査、予防接種の実施（3年間）



### 各種予防接種実績

(単位：人)

区分	H27	H28	H29
B型肝炎	H28.10から実施	763	1,319
Hib感染症	1,963	1,873	1,769
小児用肺炎球菌	1,974	1,873	1,769
四種混合	1,986	1,906	1,809
BCG	486	461	458
麻しん・風しん	1,038	1,055	1,016
水痘	1,166	951	898
日本脳炎	H28.4から実施	3,475	3,998
インフルエンザ	13,068	13,318	12,833
高齢者肺炎球菌	2,537	2,873	2,953

### 各種検診実績

(単位：人)

区分	H27	H28	H29
エキノコックス症検診	209	361	708
結核検診	1	3	7

## 各種予防接種

小児の予防接種	予防できる病気	成人の予防接種	予防できる病気
B型肝炎	B型肝炎	※季節性インフルエンザ（65歳以上）	インフルエンザ
Hib感染症	主に髄膜炎	※高齢者肺炎球菌	肺炎
小児用肺炎球菌	主に髄膜炎	※麻しん風しん（抗体価が低い人）	先天性風しん症候群
4種混合	ジフテリア・百日せき・破傷風・小児マヒ	※成人の予防接種は一部本人負担金あり	
BCG	結核		
麻しん・風しん	麻しん・風しん		
水痘	水痘（水ぼうそう）		
日本脳炎	日本脳炎		
ヒトパピローマ	子宮頸がん		



## エキノコックス症検診

すこやか健診やバスツアー健診、健康まつりで実施しています。（血液検査）  
 エキノコックス症検診日数：年43日間

## 結核検診

市民健康センターで年1回結核検診を実施しています。（胸部X線撮影）  
 対象者：65歳以上



根拠法令：予防接種法

感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律  
 北海道エキノコックス症対策要領

関連計画：岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画

平成31年度予算額

1億6,606万円

# 敬老事業

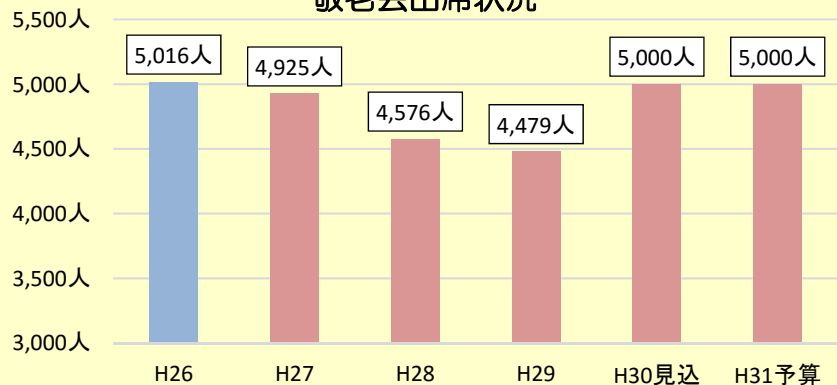
健康福祉部高齢介護課

**事業の目的** 高齢者を敬愛し長寿を祝うとともに、敬老会参加により高齢者の社会参加への促進と閉じこもりの防止を図ります。  
**事業の概要** 高齢者自らが健康で生きがいを持ち生活する意欲の向上を図るため、敬老会を実施した町会等の団体に対し報償金を交付します。

### 【見直しの経過】

- 平成27年度 ①対象年齢引上げ（満70歳以上⇒満75歳以上）  
 ②報償交付対象者を敬老会出席者のみに変更  
 ③敬老会出席者の報償単価増額

敬老会出席状況



対象年齢 (経過措置)	報償単価
満70歳以上	出席者 1,500円 欠席者 1,300円 記念品贈呈のみ 1,000円
満71歳以上	出席者 2,500円
満72歳以上	
満73歳以上	
満74歳以上	
満75歳以上	

※H26は、欠席者及び記念品贈呈のみ的人数は除外

### 実施主体

高齢者を敬愛し長寿を祝うことを目的に、「高齢者を祝うための会」を地域ぐるみで開催する町会または団体

### 対象者

- 敬老会が開催される年度中に満75歳以上になる方
- 対象年齢：経過措置により段階的に引上げ  
 【⑳71歳、㉑72歳、㉒73歳、㉓74歳、㉔～75歳】

### 報償の内容

- 敬老会を実施した町会等に対し交付
- 出席した敬老対象者 **2,500円/人**



根拠法令：岩見沢市敬老事業報償金交付要綱

関連計画：岩見沢市地域福祉計画  
 岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

平成31年度予算額

1,251万円

# 老人クラブ活動運営事業

健康福祉部高齢介護課

**事業の目的** 老人クラブ等の機能を生かし、高齢者相互の親睦と融和を図ることにより、高齢者福祉の向上を図ります。

**事業の概要** 高齢者の生きがいと健康づくり、社会貢献活動を含む社会への参加、共に支え合う地域社会づくりの担い手としての役割を認識し、その活動を推進する老人クラブに対し助成します。

## 【見直しの経過】

平成21年度 合併前の旧3市町村の制度を統合

老人クラブ設置状況 (単位：クラブ、人)

年度	老人クラブ数	会員数
H27	104	6,423
H28	103	6,113
H29	97	5,789
H30(見込)	107	6,300
H31(予算)	107	6,300



## 老人クラブ運営補助金の仕組み

**○老人クラブ** 市内に居住する満60歳以上の方が、地域ごとにクラブを結成し、その設置を市長に届け出た団体

**○補助の対象** 高齢者自らの生きがいを高め、健康づくりを進める活動やボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする各種活動に対する経費

**○補助の額** 老人クラブの会員数に応じて、補助額を設定

会員数	運営費補助金額
0~49人	年額 37,440円
50~99人	年額 43,440円
100~149人	年額 53,040円
150~199人	年額 54,240円
200人以上	年額 55,440円

根拠法令：岩見沢市老人クラブ等運営費補助金交付要綱

関連計画：岩見沢市地域福祉計画  
岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

平成31年度予算額

583万円



## 高齢者・障がい者見守り支援事業

健康福祉部高齢介護課

**事業の目的** 病弱な高齢者等が安心して地域で暮らすことができるよう支援します。

**事業の概要** 民間サービスを活用し、緊急時の救急対応を図るとともに、看護師等専門職による24時間相談や現場への駆けつけなどを行います。

### 事業開始年度 昭和50年度

#### 【見直し等の経過】

- 昭和50年度 老人福祉電話設置事業開始
- 昭和60年度 あんしん福祉電話設置事業へ移行
- 昭和63年度 独居老人ホットライン・シルバーホン設置事業へ移行
- 平成7年度 緊急通報装置貸与事業へ移行
- 平成19年度 対象世帯を拡大（重度障がい者のみの世帯追加）
- 平成31年度 看護師等専門職による24時間相談や、駆けつけサービスなどを提供する民間サービスを活用した支援制度へ移行

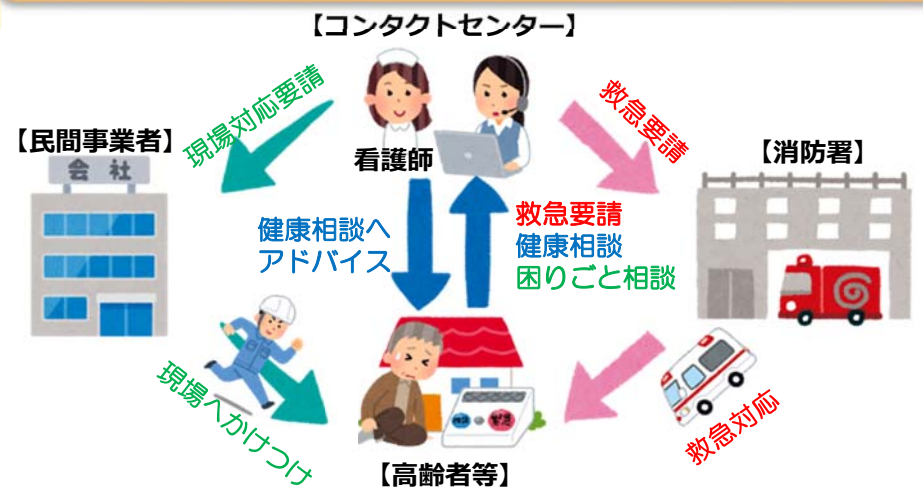
#### 緊急通報装置貸与事業（～H30）

年度	設置台数（年度末）
H27	229台
H28	217台
H29	196台
H30(見込)	200台

#### 緊急通報サービス助成金（拡充）

年度	助成件数（年度末）
H31(予算)	200件

### 高齢者・障がい者見守り支援事業のイメージ



#### 【対象者】

病弱な高齢者・障がい者の低所得者世帯（生活保護世帯又は非課税世帯）

#### 【月額利用料に対する助成額】

区分	助成額上限
生活保護世帯	月額 3,000円
非課税世帯	月額 2,000円

※貸与事業から見守り支援事業に更新する非課税世帯は、H31のみ月額3,000円を助成（経過措置）

根拠法令：岩見沢市高齢者・障がい者見守り支援事業実施要綱（作成予定）

関連計画：岩見沢市地域福祉計画  
岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

平成31年度予算額

959万円

# 介護サービス利用者負担軽減事業

健康福祉部高齢介護課

**事業の目的** 所得の少ない要介護（要支援）の方が安心して介護サービスを受けられるよう利用者負担額の軽減を図ります。

**事業の概要** 訪問介護（ホームヘルプ）及び社会福祉法人等が提供する介護サービスの利用者負担額の一部を軽減します。

**事業開始年度** 平成17年度

【経過】

平成17年度 社会福祉法人等による利用者負担額の軽減事業開始

平成20年度 訪問介護等サービス利用者負担軽減事業（市単独事業）開始

訪問介護等サービス利用者負担軽減事業 利用実績 (単位：件、千円)

年度	件数	決算額
H27	5,221	8,149
H28	5,368	8,184
H29	5,421	8,529
H30(見込)	5,419	8,127

社会福祉法人等による利用者負担額の軽減事業 利用実績 (単位：人、千円)

年度	人数	決算額
H27	73	1,656
H28	75	2,545
H29	77	2,613
H30(見込)	64	2,302

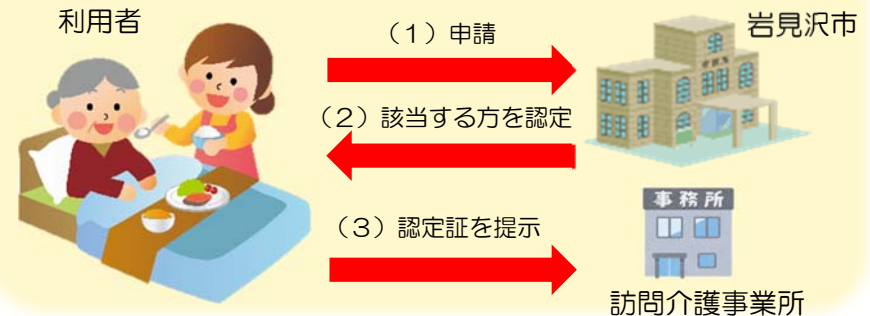
## 訪問介護等サービス利用者負担軽減事業（市単独事業）

【概要】 訪問介護の利用者負担額(1割負担分)を軽減

【対象】 市民税非課税世帯

【内容】 利用者負担額の1/2を軽減

### 利用イメージ



## 社会福祉法人等による利用者負担額の軽減事業

【概要】 社会福祉法人等が行う介護サービスの利用者負担等を軽減

【対象】 市民税非課税世帯

※年収、預貯金額、保有資産、扶養に関する要件があります。

【内容】 利用者負担額(1割負担分)、食費、居住費の1/4を軽減

根拠法令：訪問介護等サービス利用者負担額軽減実施要綱  
 社会福祉法人等による利用者負担額の軽減制度事業実施要綱  
 関連計画：岩見沢市地域福祉計画  
 岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

平成31年度予算額

1,182万円

うち、訪問介護利用者負担軽減 852万円  
 社会福祉法人等利用者負担軽減 330万円

# 市民後見推進事業

健康福祉部高齢介護課

**事業の目的** 地域の認知症高齢者や知的・精神障がい者等の継続した生活を支えるため、市民後見人の活動を支援します。  
**事業の概要** 成年後見制度の周知、市民後見人養成のための研修、市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築や適正な活動のための支援等を実施します。

## 事業開始年度 平成26年度

【経過】

平成26年度 市民後見人養成講座開始

平成28年度 成年後見支援センター開設

### 成年後見制度とは

認知症や知的・精神障がい等により、判断能力が十分でない方の生活や財産が守られるよう、家庭裁判所から選任された成年後見人などが、その方の各種の手続きを法律的に保護・支援する制度です。

### 成年後見制度の種類

種類	対象の方
後見	判断能力がほとんどない方
保佐	判断能力が著しく不十分な方
補助	判断能力が不十分な方

市民後見人養成講座 受講者数等 (単位：人)

項目	H26	H27	H28	H29	計
養成講座修了者	36	19	18	10	83
フォローアップ講座修了者	-	15	12	6	33
法人後見支援員登録者数	-	-	8	9	17
法人後見支援員選任者数	-	-	4	8	12

### 成年後見センターの運営

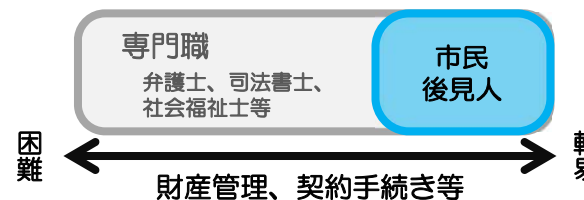
成年後見センターでは、成年後見に関する相談対応や家庭裁判所への申立手続の支援、成年後見制度の普及啓発などを行います。

### 市民後見人の養成

成年後見へのニーズが増加するなか、専門職（弁護士、司法書士等）に加え、同じ地域に住み『きめ細かい支援ができる担い手』と期待されている「市民後見人」を養成するとともに、成年後見支援センターを中心とした安定的な支援体制を構築します。

### 市民後見人の支援範囲イメージ

財産管理等が軽易な支援で対応できる方に対しては、同じ地域に住み「きめ細かい支援ができる」市民後見人が活動します。



### 取組内容

- 1 市民後見人養成のための研修の実施
- 2 成年後見支援センターの運営など、市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築
- 3 市民後見人の適正な活動のための支援
- 4 その他、市民後見人活動の推進に関する事業

根拠法令：岩見沢市市民後見推進事業実施要綱  
 岩見沢市成年後見制度利用支援事業実施要綱  
 関連計画：岩見沢市地域福祉計画  
 岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

平成31年度予算額

265万円

# 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

健康福祉部高齢介護課

**事業の目的** 高齢者の社会参加や交流を促進し、介護予防や閉じこもりの防止を図ります。

**事業の概要** 高齢者福祉大会を開催するほか、高齢者の生きがいづくりや健康づくりに関する事業に対し費用の一部を助成します。

## 事業開始年度 昭和40年度

### 【経過】

昭和40年度	高齢者福祉大会
昭和49年度	シニア交流大会 金婚祝賀事業
昭和51年度	ネンリンピック（栗沢）
昭和53年度	しめ飾りづくり講座
昭和54年度	オモチャの病院
昭和55年度	シルバーボランティア養成推進事業
昭和59年度	福祉スポーツ大会（北村）
平成30年度	高齢者の健康を「まもる・つくる・つなぐ」事業開始 ひとづくり研修事業開始

### 高齢者の健康を「まもる・つくる・つなぐ」事業 取組内容(抜粋)

健康ひろば	バスで移動	親睦・交流
北大による介護予防体操	バラ園散策	
北大による健康講座	ごみ処理施設「いわ☆ぴか」見学	
AED講習	宝水ワイナリー見学	
保健師等の健康講座	郷土科学館見学	

## 高齢者の生きがいづくり活動に対する助成

### 高齢者生きがいづくり事業補助金 (対象団体：岩見沢市老人クラブ連合会)

#### ○高齢者の健康を「まもる・つくる・つなぐ」事業

- 健康ひろばを活用した健康講座など、社会参加や交流を促進する活動を支援



#### 健康ひろば活用 (健康づくり推進課との連携)

#### ○ひとづくり研修事業

- ボランティア活動の資質向上及び指導者育成に加え、地域の担い手育成を目的とした研修を支援

#### ○特技・技術を活かした社会貢献事業

- オモチャの病院や未来に引き継ぐ伝承活動講座（しめ飾りづくり）の開設を支援

### 金婚祝賀事業補助金 (対象団体：金婚を祝う会実行委員会)

- 結婚50周年を迎える夫婦を対象に開催する金婚祝賀会を支援

## 高齢者の健康づくり活動に対する助成

### 高齢者健康づくり事業補助金 (対象団体：岩見沢市老人クラブ連合会、北村地区福祉活動実行委員会、ネンリンピック実行委員会)

- 健康増進や体力の確認などを行う健康づくりに加え、仲間づくり、参加者間の交流や親睦を図る活動を支援

根拠法令：岩見沢市高齢者等健康づくり事業補助金交付要綱  
岩見沢市高齢者等生きがいづくり事業補助金交付要綱  
関連計画：岩見沢市地域福祉計画  
岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

平成31年度予算額

354万円

## 長寿祝金支給事業

健康福祉部高齢介護課

事業の目的 高齢者に対し、その長寿を祝福し、敬老の意を表するとともに、高齢者福祉の向上を図ります。

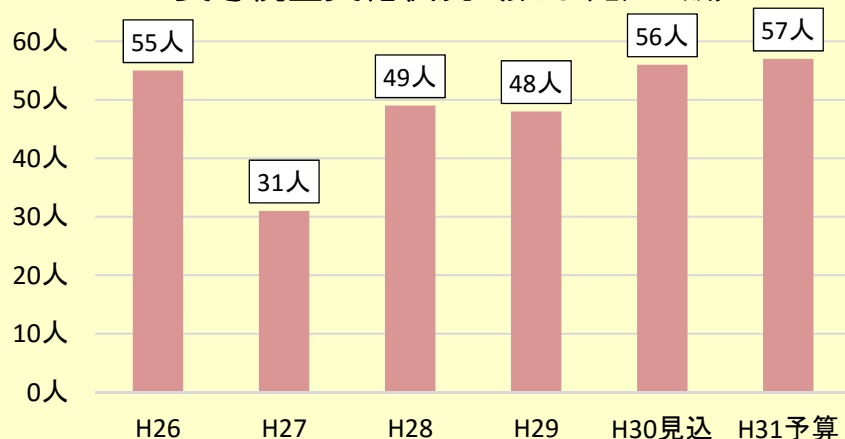
事業の概要 市内に1年以上居住している、数え年齢99歳（白寿）の方に3万円及び祝状を贈呈します。

### 【見直し等の経過】

平成20年度 数え年齢88歳、99歳対象

平成30年度 数え年齢99歳対象、数え年齢88歳廃止

長寿祝金支給状況（数え年齢99歳）



### 対象者

数え年齢99歳（白寿）

※9月1日現在、本市に1年以上住民登録がある方

### 長寿祝金の額

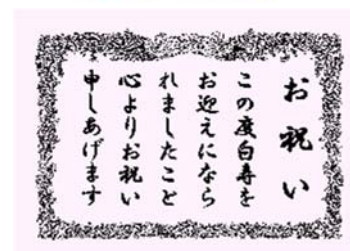
3万円

### 贈呈方法

自宅訪問

### 対象者数

57人



「百」の字から一を引くと「白」になることに由来する『白寿』のお祝いとして実施

根拠法令：岩見沢市長寿祝金条例

関連計画：岩見沢市地域福祉計画  
岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

平成31年度予算額

178万円

## 2 みんなが健康で元気に暮らせるまち (2) 高齢者福祉の充実

### 特別会計介護保険費（保険事業勘定）

## 地域支援事業

健康福祉部健康づくり推進課

**事業の目的** 高齢者が要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援します。

**事業の概要** 高齢者の介護予防や社会参加に向けた取組み、介護と医療の連携や認知症の方への支援などを一体的に推進しながら、地域で暮らす高齢者の方への支援体制（地域包括ケアシステム）構築に取り組めます。

### 事業開始年度 平成28年度

#### 【見直し等の経緯】

平成28年度 介護保険法改正により、要支援認定者の介護サービスの一部を地域支援事業に移行  
平成30年度 総合事業サービス単価の改正

#### 事業実績

	H28	H29	H30見込
介護予防・生活支援サービス（利用件数）	7,400件	16,019件	17,520件
一般介護予防事業（参加者数）	5,859人	5,290人	5,500人
地域包括支援センター運営事業（相談件数）	2,043件	2,671件	2,936件
地域ケア会議推進事業（会議開催回数）	12回	19回	21回
認知症総合支援事業（初期集中支援推進事業）（訪問回数）	44回	23回	66回
成年後見制度利用支援事業（講演会参加者数）	155人	210人	160人
福祉用具・住宅改修支援（利用件数）	40件	43件	45件
認知症サポーター養成講座（累積受講人数）	8,239人	8,887人	9,500人

#### 介護予防・日常生活支援総合事業

##### ①介護予防・生活支援サービス事業

訪問型サービス・通所型サービス・介護予防ケアマネジメント

##### ②一般介護予防事業

介護予防把握事業・介護予防普及啓発事業・地域介護予防活動支援（健康教育・健康相談の実施等）

#### 包括的支援事業

##### ①地域包括支援センター運営事業

##### ②在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療と介護の一体的実施のための体制構築支援

##### ③地域ケア会議推進事業

##### ④生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーターの設置等）

##### ⑤認知症総合支援事業

「認知症カフェ」運営費助成事業の実施（新規）

認知症初期集中支援推進事業・認知症地域支援・ケア向上事業

#### 任意事業

##### ①介護給付等費用適正化事業

##### ②成年後見制度利用支援事業

##### ③福祉用具・住宅改修支援事業

##### ④地域自立生活支援事業（配食サービス事業）

##### ⑤認知症サポーター養成事業



根拠法令：介護保険法

岩見沢市地域支援事業実施要綱

関連計画：岩見沢市介護保険事業計画

岩見沢市高齢者保健福祉計画

平成31年度予算額

5億9,066万円

# 障害者自立支援給付事業

健康福祉部福祉課

**事業の目的** 障がいのある方が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう必要な給付を行います。  
**事業の概要** ヘルパーの利用や施設入所等の福祉サービス、失った機能を補う補装具の支給、障がいを軽減等するための医療費の助成、子どもの発達と療育を促す障がい児通所支援等を行います。

## 障害児通所支援利用者負担額無償化

平成15年度 国制度改正により利用者負担開始  
(市独自施策で減免)  
 平成26年度 国制度改正により未就学児の第2子減免、第3子無償化  
(市独自施策で完全無償化)  
 平成31年度 国制度改正により3歳から5歳の無償化  
(市独自施策で完全無償化)

障害福祉サービス等利用件数 (単位：件)

内 容	H29	H30 見込	H31 予算
障害福祉サービス	19,146	19,416	19,572
補装具	333	306	339
自立支援医療	3,753	3,904	3,950
障害児通所支援	4,800	5,691	5,844
障害児通所支援 市独自減免分	2,533	2,978	2,348

### ●障害福祉サービス

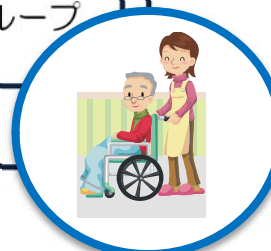
障がいのある方が、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、日常生活や社会生活を支援

※居宅介護（ヘルパー）、就労移行支援、グループホーム利用 など

### ●補装具

身体の障がいを補うための用具の購入や修理、レンタルの費用を給付

※義肢、装具、盲人安全つえ、眼鏡、補聴器、車椅子 など



### ●自立支援医療

障がいの軽減や改善が見込まれる特定の医療について、医療費を助成

※人工関節置換術、白内障手術、人工内耳、口蓋形成術、血液透析、ペースメーカー埋込み術 など

### ●障害児通所支援

障がいのある子どもに対し、日常生活における動作の指導や生活能力向上のための訓練を支援

※市の独自施策により、利用者負担額を完全無償化

根拠法令：障害者基本法、障害者総合支援法、児童福祉法

関連計画：岩見沢市地域福祉計画、岩見沢市障がい者福祉計画  
 岩見沢市障がい福祉計画・障がい児福祉計画

平成31年度予算額

29億5,606万円

# 障害者自立推進事業

健康福祉部福祉課

**事業の目的** 障がいの有無に関わらず、互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。  
**事業の概要** 障がいの特性に合わせた施策を展開し、社会参加しやすい環境の整備と権利擁護に努め、また、障がいを理由とする差別や偏見など社会的障壁の解消に向け、理解と促進を図ります。

## 【事業の経過】

- 平成22年度 通所訓練費助成開始
- 平成24年度 虐待防止センター設置【市福祉課内】
- 平成25年度 障害者就労施設等からの物品等の調達方針策定
- 平成26年度 専任手話通訳者配置【市福祉課内】
- 平成28年度 障害者差別解消法に関する市職員対応要領策定  
 岩見沢市成年後見支援センター開設  
 軽度・中等度難聴児補聴器給付開始  
 小児慢性特定疾病児日常生活用具給付開始
- 平成30年度 岩見沢市手話言語条例制定  
 遠隔手話通訳サービス開始  
 障がい者が暮らしやすい地域づくり推進事業開始



## 障がいのある方を支援する事業

障がいのある方が、日常生活や社会生活を営むことができるように、市が主体的に実施します。

### ●地域生活支援事業

事業名	内容
日常生活用具給付	日常生活に必要な用具を給付
日中一時支援	日中、介護者が就労等で介護ができない場合に、一時的に事業所で預かり、日常生活を支援
成年後見制度利用支援	判断能力が十分でない方が、財産の管理や契約をするときに、本人に不利益にならないように支援
移動支援	屋外での移動が困難な方に、外出先でヘルパーが付添い支援
手話通訳者派遣	聴覚障がい者のコミュニケーション支援に、通訳者を派遣
【市独自】 遠隔手話通訳サービス	手話通訳者がいない場合に、市の専任手話通訳者がテレビ電話を通じてコミュニケーションをお手伝い
相談支援	自立した日常生活や社会生活を営む事ができるよう、必要な情報の提供、助言、指導、各種サービス等の利用に関する連絡調整、虐待の防止、権利擁護等の支援

### ●その他の事業

事業名	内容
特別障害者手当 障害児福祉手当	著しい障がいのため、日常生活において常時介護を必要とする方に手当を支給
通所訓練費助成	障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援B型を利用している方に、自立と社会参加を目的に通所に係る費用を助成
軽度・中等度難聴児補聴器給付	身体障害者手帳の交付対象とならない難聴の子どもに、言語習得や教育等における健全な発達を支援するため、補聴器の購入費用を給付
小児慢性特定疾病児日常生活用具給付	小児慢性特定疾病医療の対象となる子どもに日常生活に必要な用具を給付
タクシー利用料助成	身体障がい者が、タクシーを利用する場合の初乗り料金を助成
自動車改造費助成	身体障がい者が、就労等のために本人が運転する自動車を改造する費用を助成
自動車運転免許取得費用助成	身体障がい者が、自動車運転免許を取得する場合に、教習を受ける費用を助成
【市独自】障がい者が暮らしやすい地域づくり推進事業	民間事業者が、障がいのある方に配慮する時に必要な用具の購入にかかる費用を補助

根拠法令：障害者基本法、障害者総合支援法、児童福祉法、障害者虐待防止法、障害者優先調達推進法、障害者差別解消法  
 関連計画：岩見沢市地域福祉計画、岩見沢市障がい者福祉計画  
 岩見沢市障がい福祉計画・障がい児福祉計画

平成31年度予算額

1億4,052万円



## 障害者文化芸術活動支援事業

健康福祉部福祉課

**事業の目的** 芸術作品の展示等を通して障がいへの理解を深め、障がいの有無に関わらず暮らせる共生社会の実現を図ります。

**事業の概要** いわみざわハート&アート展を開催するとともに、2019障がい者国際芸術文化祭を開催します。また、市役所本庁舎やいわみざわ健康ひろばでの作品の常設展示を行い、アール・ブリュット作品の鑑賞機会を提供します。

### 事業開始年度 平成22年度

#### 【障がいのある人の芸術活動】

平成22年度 いわみざわハート&アート展 開催  
平成28年度 北海道アール・ブリュットフォーラム 開催

いわみざわハート&アート展 開催実績 (単位：作品、人)

年度	H27	H28	H29	H30
作品数	129	122	182	162
来場者数	1,440	1,342	1,359	1,172

北海道アール・ブリュットフォーラム 開催実績 (単位：人)

年度	H28	H29	H30
実施内容	作品展示 舞台発表 研究フォーラム	作品展示 舞台発表 研究フォーラム	舞台発表 研究フォーラム
来場者数	1,006	1,284	680

#### 【障がいのある人のスポーツ】

北海道障がい者スポーツ大会 夏季・冬季同時開催  
 ・夏季大会：陸上競技、サッカー  
 ※美唄市でフットベースボール、車椅子バスケットボール、バスケットボール、ソフトボール開催  
 ・冬季大会：スキー大回転競技、距離競技

#### ●アール・ブリュット作品の常設展示

市役所本庁舎、健康ひろばでの常設展示を実施し、いわみざわハート&アート展（公募型作品展）を開催します。



#### ●2019障がい者国際芸術文化祭の開催

2019障がい者国際芸術文化祭を開催します。  
 ※全国から集めたアール・ブリュット作品の展示や舞台芸術の発表、国際研究フォーラムを実施



#### ●スペシャルオリンピックス冬季ナショナルゲームへの開催支援

スペシャルオリンピックス冬季ナショナルゲーム（知的障がい者のスポーツ大会）の開催を支援します。

根拠法令：障害者による文化芸術活動の推進に関する法律

関連計画：岩見沢市地域福祉計画

平成31年度予算額

2,567万円

# 社会福祉協議会運営補助事業

健康福祉部福祉課

事業の目的 社会福祉協議会と連携し、地域福祉の推進を図ります。

事業の概要 社会福祉協議会の安定的な運営と事業の充実のため、補助金を交付します。

## 【社会福祉協議会とは】

社会福祉法第109条に規定する「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、市や市民、ボランティアや福祉団体と協働して地域福祉を推進する役割を担っています。

補助実績の推移

(単位：千円)

年度	H28	H29	H30(予算)
法人管理運営事業	22,856	22,469	21,717
広域総合福祉センター管理運営事業	14,081	13,787	14,179
地域づくり推進事業	15,718	16,921	18,526
合計	52,655	53,177	54,422

社協会員数及びボランティア登録団体数

(単位：人、団体)

年度	H26	H27	H28	H29
社協会員数	585	553	598	633
ボランティア登録団体数	26	26	26	26

## 【社会福祉協議会の取組み】

社会福祉協議会 地域福祉活動計画 **支え合い 共に生きる 住みよい地域づくり**



岩見沢市地域福祉計画 **人もまちも元気で健康に**  
 ~だれもが、助け合い、支え合いながら、明るく元気に暮らせるまちを実現します~

根拠法令：社会福祉法

関連計画：岩見沢市地域福祉計画

平成31年度予算額

5,643万円

# 民生委員児童委員協議会運営費交付等事業

健康福祉部福祉課

事業の目的 民生委員児童委員協議会の運営を支援し、地域福祉の推進を図ります。

事業の概要 民生委員児童委員協議会の運営及び民生委員活動の円滑化のために、交付金を交付します。

事業開始年度 昭和44年度

## 民生委員・児童委員の概要

- 地域の中から選ばれ、その地域の住民の見守りや相談・支援にあたります。
- 全ての「民生委員」は「児童委員」を兼ね、子どもの見守りや子育て支援にも携わります。

交付額の推移

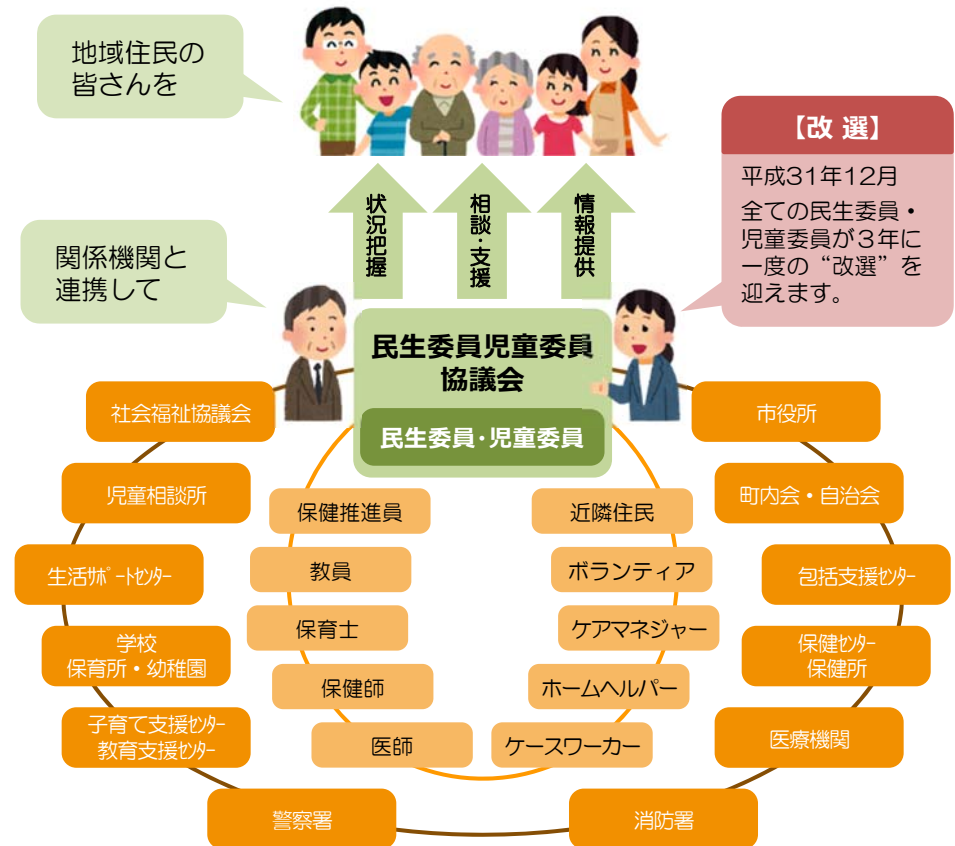
(単位：万円)

年度	H28年度	H29年度	H30年度
交付額	2,415	2,444	2,444

民生委員・児童委員の活動実績

区分	H27年度	H28年度	H29年度
一人当たりの活動日数	年間 138日	年間 134日	年間 137日
一人当たりの相談件数	年間 32.0件	年間 31.8件	年間 26.5件
委員充足率	97.0%	98.3%	97.9%

## 民生委員・児童委員の活動について



根拠法令：民生委員法、児童福祉法、  
民生委員等関係経費負担金取扱要綱  
関連計画：岩見沢市地域福祉計画、子ども子育てプラン

平成31年度予算額

2,518万円

# 生活困窮者自立促進支援事業

健康福祉部保護課

**事業の目的** 生活困窮者が困窮状態から脱却できるように、相談支援・就労準備支援・中学生の学習支援を行います。

**事業の概要** 岩見沢市生活サポートセンター「りんく」で生活困窮者の相談受付・自立支援を行います。また、生活保護受給世帯等の中学生に対し、少人数学習教室により学習支援を行います。

## 事業開始年度 平成25年度

【見直し等の経過】

平成26年度～ 学習支援事業の実施

平成28年度～ 無料職業紹介事業の実施

### ・自立相談支援・就労準備支援事業

(単位：人、件)

	H25 10～	H26	H27	H28	H29	H30 9末	合計
相談者数	76	161	159	194	185	76	851
支援申込数	51	89	94	70	60	49	413
支援決定数	43	85	88	53	54	46	369
就労開始数	3	17	22	17	12	12	83
生活保護	8	4	6	17	6	3	44
無料職業紹介 による就労	-	-	-	20	14	2	36

### ・学習支援事業の実績

(単位：人)

	H26	H27	H28	H29	H30.9末
中学1年生	4	6	4	3	2
中学2年生	13	4	7	4	2
中学3年生	1	6	3	6	4
合計	18	16	14	13	8
進学先高校	市内1人	市内5人 市外1人	市内3人	市内3人 市外2人	-



### 学習支援事業

貧困の連鎖からの脱却を目指し、少人数による補習教室を実施します。

⇒ 学習意欲の向上

⇒ 基礎学力の向上

【対象者】

- ・生活保護受給世帯の中学生（希望者）
- ・りんく支援世帯の中学生（準要保護基準以下の世帯）

【科目】

- ・英語、数学、国語のうち2科目

【時間】

- ・18時～20時（2時間）

【場所】

- ・岩見沢市シルバー人材センター（5西3）



根拠法令：生活困窮者自立支援法

関連計画：

平成31年度予算額

2,556万円

# 生活保護運営事業 (うち生活習慣病の重症化予防等の健康管理支援事業)

健康福祉部保護課

**事業の目的** 健康管理支援に取り組むことで、健康寿命の延伸と自立の助長を目指します。

**事業の概要** 医療レセプトデータ及び健診データを活用し、糖尿病等の生活習慣病の重症化予防に向け、保健指導等のサポートを実施します。

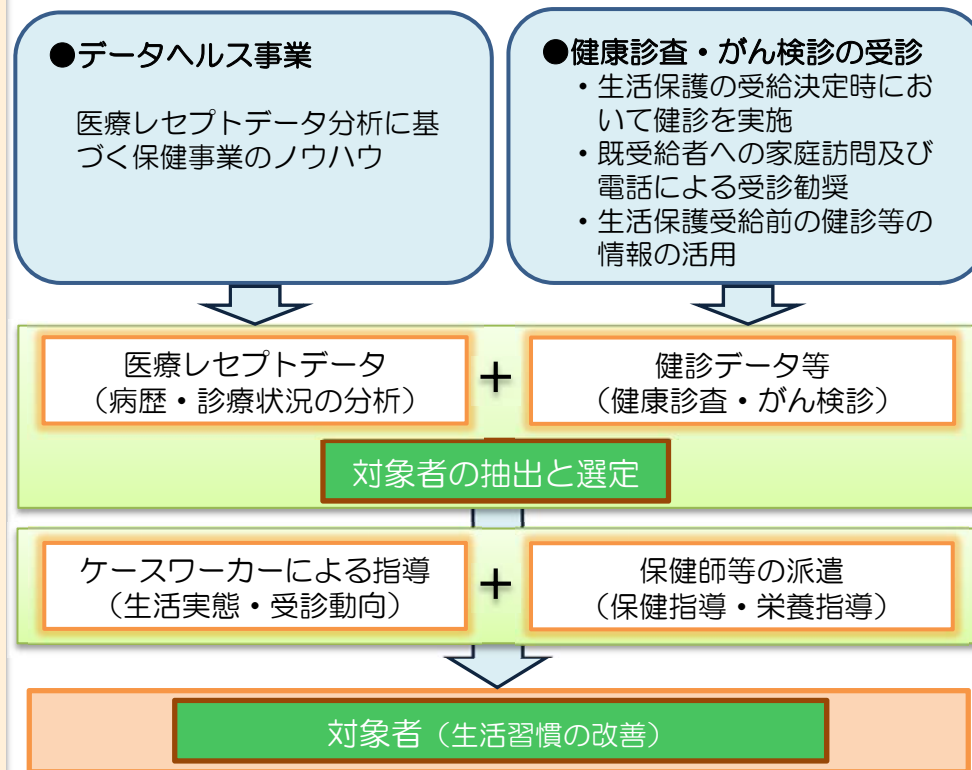
## 事業開始年度 平成29年度

平成29年度実績		
健診等受診勧奨	受診者数	130人
	受診件数	505件
	受診件数のうちピロリ菌受診件数	61件
重症化予防	指導対象者	81人
	指導対象者のうち指導者	5人
	保健師による指導期間 ・面接指導回数 ・電話指導回数	4か月 2回 3回
	改善状況 ・HbA1c減少 ・生活習慣(食生活)改善	2人 3人

29年度指導終了者は、生活習慣改善の継続定着のため、健康づくり推進課の健康教室(年3回:平成30年11月4日より実施)を受講

### 重症化予防等の健康管理支援事業

医療レセプトデータや健診データ等に基づく現状分析と健康課題を把握した上で、保健師とケースワーカーが連携して個別指導することにより、生活習慣病等の重症化予防を図ります。



根拠法令:

関連計画:

平成31年度予算額

3,491万円

うち、重症化予防等の健康管理支援事業 318万円

2 みんなが健康で元気に暮らせるまち (5) 社会保障制度の適正な運営

特別会計国民健康保険費

特定健康診査等事業

健康福祉部国保医療助成課

事業の目的 メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査等を無料で実施し「健康寿命」の延伸を目指します。

事業の概要 糖尿病等の生活習慣病の予防、早期発見のため、特定健康診査を実施します。その結果、メタボリックシンドローム該当者等に対して、生活習慣の改善に向けた特定保健指導を実施します。

事業開始年度 平成20年度

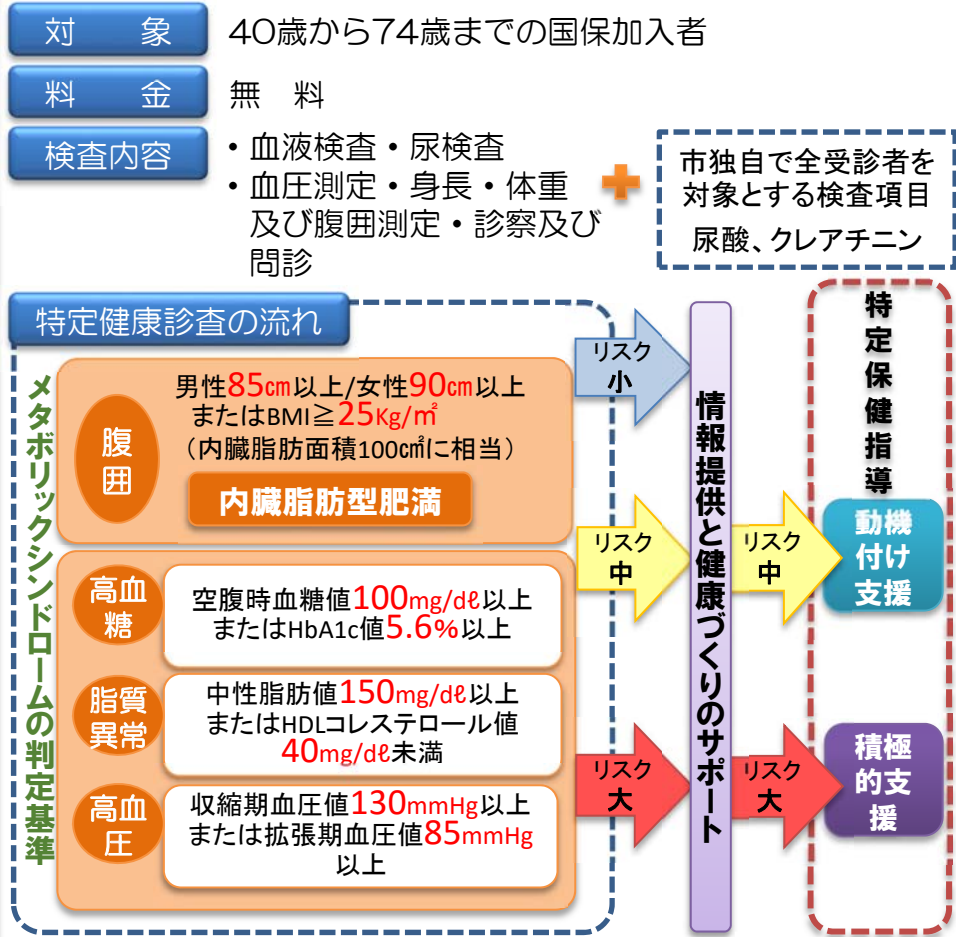
【見直し等の経過】

平成20年度 HbA1c及び尿酸検査を全受診者に実施（市独自）  
 平成25年度 血清クレアチニン検査を全受診者に実施（市独自）  
 平成30年度 随時血糖による検査を実施（制度改正）

特定健康診査・特定保健指導実施状況 (単位：人、%)

区分		H20	H25	H26	H27	H28
特定健康診査	対象者	16,951	15,906	15,544	14,928	14,180
	受診者	3,523	3,102	3,289	3,500	3,481
	受診率	20.8	19.5	21.2	23.4	24.5
特定保健指導	対象者	590	336	332	376	373
	受診者	26	16	52	19	82
	受診率	4.4	4.8	15.7	5.1	22.0

区分		H29	H30見込	H31予算
特定健康診査	対象者	13,408	12,339	11,590
	受診者	3,269	3,208	4,056
	受診率	24.4	26.0	35.0
特定保健指導	対象者	342	327	420
	受診者	89	98	168
	受診率	26.0	30.0	40.0



根拠法令：国民健康保険法  
 高齢者の医療の確保に関する法律  
 関連計画：第3期岩見沢市特定健康診査等実施計画

平成31年度予算額

5,431万円

事業の目的 人間ドック等の助成及び各種がん検診の無料化を行い、疾病の早期発見に努め、健康寿命の延伸を図ります。

事業の概要 国保加入者に対し、人間ドック・脳ドックの助成、各種がん検診を無料で実施します。

【見直し等の経過】

平成4年度 人間ドック助成開始  
 平成14年度 脳ドック定員20人で事業開始  
 平成15年度 脳ドック定員100人に拡大  
 平成28年度 脳ドック定員110人に拡大  
 平成28年度 各種がん検診無料化・検査項目拡大  
 平成29年度 脳ドック定員120人に拡大

がん検診・人間ドック等受診者数 (単位：人、%)

		H25	H26	H27	H28	H29	H30 見込	H31 予算
対がん協会	胃がん	926	1,006	1,039	1,216	1,021	1,302	1,242
	肺がん	1,042	1,180	1,244	1,520	1,319	1,537	1,404
	大腸がん	—	—	—	1,459	1,287	1,448	1,566
	前立腺	—	—	—	561	480	543	510
	子宮	—	—	—	251	226	484	424
	乳がん	76	79	110	244	268	550	508
	喀痰	—	—	—	5	14	12	12
	肝炎ウィルス	9	8	9	10	4	10	5
	小計	2,053	2,273	2,402	5,266	4,619	5,886	5,671
	健康センター	人間ドック	1,387	1,339	1,454	1,367	1,288	1,400
乳がん		257	256	293	462	319	583	364
子宮		—	—	—	336	241	497	439
小計		1,644	1,595	1,747	2,165	1,848	2,480	2,203
車いすドック		—	—	—	0	2	9	9
脳ドック		100	100	100	110	120	120	120
合計		3,797	3,968	4,249	7,541	6,589	8,495	8,003

実施事業

人間ドック	腹部超音波検査ほか20項目
脳ドック	MR I・MRA検査等
歯科健診	個別健診
各種がん検診	
胃がん検診	胃バリウム検査
肺がん検診	胸部エックス線撮影
大腸がん検診	便潜血検査
前立腺がん検診	血液検査
子宮がん検診	視診、内診、細胞診
乳がん検診	視診、触診、マンモグラフィ撮影
肝炎ウィルス検診	血液検査

根拠法令：国民健康保険法

関連計画：

平成31年度予算額

4,519万円

2 みんなが健康で元気に暮らせるまち (5) 社会保障制度の適正な運営

特別会計国民健康保険費

医療費適正化対策事業

健康福祉部国保医療助成課

事業の目的 保険料と公費で運営している国民健康保険の健全運営のため、医療費の適正化を図ります。

事業の概要 診療報酬明細書(レセプト)の点検審査業務、第三者行為求償事務、医療費通知業務等を実施します。

【見直し等の経過】

平成24年度 第三者求償業務委託実施

平成26年度 柔道整復師施術療養費調査業務実施

レセプト点検実施状況

(単位：件、千円)

		H25	H26	H27	H28	H29
資格点検	件数	344,182	338,869	327,971	312,550	293,708
	調整金額	12,193	15,277	15,417	19,895	14,793
内容点検	件数	344,182	338,869	327,971	312,550	293,708
	調整金額	6,603	6,811	5,883	7,395	7,226
再審査請求	件数	2,238	2,896	3,418	2,441	1,780
	調整金額	4,447	5,674	4,922	4,557	2,351
不正利得 第三者行為	件数	406	873	307	179	284
	調整金額	11,430	61,212	19,417	7,841	3,286

第三者行為求償実施状況

(単位：件、千円)

	H25	H26	H27	H28	H29
調査件数	117	92	173	101	73
求償件数	24	24	16	16	17
求償額	8,099	18,591	15,658	19,888	16,010
収納額	7,079	16,791	13,664	5,673	9,157

医療費通知実施状況

(単位：件)

	H25	H26	H27	H28	H29
調査件数	65,397	64,287	63,037	60,521	57,566

柔道整復師施術療養費調査実施状況

(単位：件)

	H25	H26	H27	H28	H29
通知件数	15	302	113	100	163

実施事業

診療報酬明細(レセプト)点検審査業務

保険医療機関から提出された診療報酬明細書(レセプト)の診療内容、請求内容を点検、審査します。

第三者行為求償事務

交通事故等の第三者(加害者)の不法行為によって生じた保険給付費等を、加害者に対して損害賠償求償します。

医療費通知業務

医療機関に支払った医療費の額などについて、保険者から患者に通知し、健康に対する認識を深めてもらいます。

柔道整復師施術療養費調査業務

柔道整復師にかかる施術が、療養上必要な範囲及び限度で行われているか点検、調査します。

根拠法令：国民健康保険法

関連計画：

平成31年度予算額

1,807万円



特別会計国民健康保険費  
データヘルス事業

健康福祉部国保医療助成課

事業の目的 データヘルス計画に基づく保健事業の実施により医療費の適正化と「健康寿命」の延伸を目指します。

事業の概要 診療報酬明細書（レセプト）と特定健康診査のデータを分析、活用したデータヘルス計画に基づき、糖尿病等の重症化予防、多受診者の保健指導等を行い医療費の適正化を図ります。

事業開始年度 平成26年度

【見直し等の経過】

平成27年度 高血圧症重症化予防事業、COPD受診勧奨事業、糖尿病・高血圧症重症化予防プログラム修了者の健康教室開始

データヘルス事業実施状況

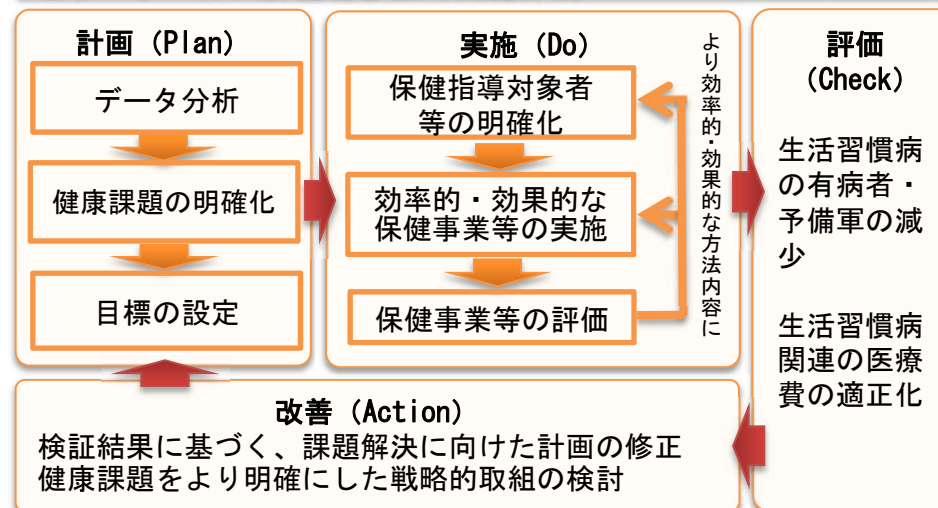
(単位：人、件)

区分		H26	H27	H28	H29	H30 見込
糖尿病性腎症等重症化予防事業	対象者	391	323	317	318	319
	修了者	21	25	13	13	5
高血圧症等重症化予防事業	対象者	—	359	300	289	294
	修了者	—	6	10	1	12
ジェネリック医薬品利用促進事業	通知	6	6	6	6	6
	対象者	7,164	7,163	6,607	5,841	6,626
重複頻回受診等指導事業	対象者	262	220	163	140	111
	実施者	51	50	47	35	90
医療機関受診者勧奨事業 (健診異常値放置者)	対象者	163	254	156	224	220
	受診者	15	25	13	23	—
医療機関受診者勧奨事業 (COPD)	対象者	—	289	294	295	239
	受診者	—	1	4	2	—
薬剤併用禁忌情報提供事業	抽出	7	7	7	7	7
	件数	481	6	5	5	5

■服薬情報通知事業（平成31年度～）

多剤服薬等による副作用等を防止するため、薬剤の見直しが必要と思われる方へお知らせを送付

■データヘルス計画と事業の実施体制



■データヘルス計画に基づく保健事業等

実施事業

- 重症化予防事業
  - ・糖尿病性腎症等
  - ・高血圧症等
- ジェネリック医薬品利用促進事業
- 重複頻回受診者等指導事業
- 医療機関受診勧奨事業
  - ・健診異常値放置者等
  - ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）
- 薬剤併用禁忌情報提供事業
- 服薬情報通知事業
- 国保健康教室

H31  
創設

根拠法令：国民健康保険法

関連計画：岩見沢市国民健康保険第2期データヘルス計画

平成31年度予算額

1,751万円

病院事業会計

医療機械器具等整備事業

市立病院事務部管理課

事業の目的 高度な医療を提供するために不可欠な医療機械器具等の整備・更新を行い、診療体制の充実を図ります。

事業の概要 総合病院の脳神経外科手術支援ナビゲーションシステムほか全27品目、栗沢病院の血圧脈波検査装置の整備・更新を行います。

南空知の中核病院として、高度医療・救急医療・小児周産期医療など、質の高い医療サービスを提供するため、毎年、医療機械器具等を計画的に導入・更新しています。

医療機械器具の整備経過

(単位：万円)

	決算額	主な医療機械器具等の整備状況
平成26年度	20,750	X線透視診断装置 全自動錠剤分包機
平成27年度	37,993	全身用X線CT装置 白内障手術装置
平成28年度	19,681	人工透析用監視装置 泌尿器科用レーザー手術装置
平成29年度	37,815	手術支援ロボットダ・ヴィンチ 放射線治療計画用CT
平成30年度 (見込)	30,608	MRIアップグレード 眼科手術用顕微鏡 生化学・免疫測定装置



**新規**

- 脳神経外科手術支援ナビゲーションシステム（総合病院）  
術前に撮影したCTやMRIなどの画像と同期させた3D映像を描出することで、神経や血管を傷つけることなく、より正確かつ安全な手術が可能となるナビゲーションシステムの導入を図ります。

**更新**

- 血圧脈波検査装置（栗沢病院）  
動脈硬化の程度や脚の血管の詰まりを測定する装置を更新します。

根拠法令：

関連計画：岩見沢市立総合病院新改革プラン（2016～2020年度）  
岩見沢市立栗沢病院新改革プラン（2016～2020年度）

平成31年度予算額 **1億5,195万円**

## 新市立総合病院建設事業

事業の目的 地域センター病院として、今後も良質で安全・安心な医療を提供するため、新病院の建設に向けた準備を進めます。

事業の概要 現総合病院本館の老朽化・狭小化などの課題を克服し、高度化・多様化する地域の医療ニーズへの対応や療養環境の確保を図るため、新病院の建設に向けた取組みを行います。

### 事業開始年度 平成30年度

#### 【事業の経過】

平成30年度 基本構想策定に着手

#### 【基本構想の内容】

- (1) 岩見沢市立総合病院を取巻く環境の分析と課題の検証
  - ア 人口動態と患者数の将来予測
  - イ 南空知医療圏及び近隣医療圏の状況
  - ウ 施設の現況
  - エ 岩見沢市立総合病院を取巻く環境の分析、課題の検証
  - オ 岩見沢市立栗沢病院（療養病床）との関連性
  - カ 地域医療構想における地域包括ケア病床との関係
- (2) 基礎調査
  - ア 岩見沢市立総合病院の現状
  - イ 岩見沢市立総合病院が注力したい機能について
- (3) 新病院の基本方針等の策定
  - ア 新病院の果たすべき役割、方向性
  - イ 新病院において実施する医療の基本方針
  - ウ 新病院に求められる診療機能
  - エ 建設候補地の選定方針
- (4) 新病院の概算事業費等
- (5) 整備スケジュール等
  - ア 整備手法の検討
  - イ 整備スケジュールの検討

### 平成31年度 事業予定

- 平成30年度に引き続き基本構想策定に向けた検討を行います。
- その他、先進病院の調査等を行います。



【現市立総合病院本館 主要諸元】

供用開始	昭和59年、60年
延床面積	21,945.35㎡
敷地面積	30,108㎡
病床数	484床
駐車台数	約620台

根拠法令：

関連計画：岩見沢市立総合病院新改革プラン（2016～2020年度）

平成31年度予算額

110万円